

学級活動（１）高学年（第５学年・６月）

議題 「係しょう会をしよう」

１ 本時について

（１） 本時のねらい

- ・ 友達の頑張りや活動を認めるための係発表会の計画を考えることができるようにする。

（２） 事前の活動

計画委員の活動	学級全員の活動
・ 議題を選定する ・ 提案理由を提案者と練り上げる。 ・ 活動計画を作成する。 ①話合いのめあて ②話合いの柱 ③役割の確認 ④きまっていること ・ 提案理由を全体に提示する。 ・ 全員の学級会ノートに目を通す。 ・ 話合いの準備をする。 ・ 短冊作成 ・ 話合いの準備をする。 ①柱１・柱２の確認 ②学級会の流れの確認 ・ 話合いの分担について確認する。	・ 議題や提案理由の確認 ・ 話し合いのめあてや柱の確認 ・ 学級会ノートに自分の考えを記入する。 ・ 学級会ノートで話し合いの柱や自分の意見等を確認する。

(3) 本時の展開

話合いの順序	○指導上の留意点	評価の観点【】 目指す児童の姿◎ 評価方法〈〉	時間
1 はじめの言葉	○みんなでよりよい学級にしていこうという意欲が高められるように、笑顔で見守る。		5
2 計画委員の自己紹介	○自分の役割に対してめあてを発表し、役割意識を高めることができるようにする。		
3 議題の確認	「係しよう会をしよう。」		
4 提案理由の説明	5年生になって、委員会活動や低学年のお世話などに時間を使うことで、4年生の時のように係活動ができていません。係を4年生の時のように活発にしたいです。そこで、お互いの係のがんばりを知ったり、認め合ったりすることができる係発表会をします。この係しよう会を通して、係活動が活発になったり、クラスの雰囲気がよくなったりすると思い提案しました。		
5 めあての確認	○提案者の思いや願いを深め、全員が理解し、話合いの指針となるようにする。 ○提案理由の説明に必要な資料を用意しておく。大切な言葉をキーワードにして掲示し、話合いの際に意識できるようにする。		
6 話合うことの確認	○提案理由をまとめたものであり、話合い活動の拠り所となるものである。全員にはっきりと読ませ、話し合う際の意識付けを行う。		
7 決まっていることの確認	○スタート段階や順序を確認し、スムーズに話し合えるようにさせる。		
8 先生の話	○話合いの見通しがもてるよう、掲示資料を活用しながら確認し、共通理解を図れるようにする。		
9 話合い	○提案理由を意識した発言や学級全体を考えた建設的な発言を意識することを伝える。	【関心・意欲・態度】 ◎意欲的に自分の意見を発表しようとしている。 〈発言・観察〉 【思考・判断・実践】 ◎決まっていることや提案理由を理解し、実践への見通しをもって発言している。	1 5 1 2 8
①係発表会でしたいこと	○決まっていることや提案理由を意識して話合いが進められるようにする。		
②よりよい係発表会にするためにどんな工夫ができるか	○出された意見は、できるだけ生かせるよう折り合いをつけるように助言する。 ○話合いを見守りつつ、話合いの進行や計画委員の活動に助言したり、支援を行ったりする。		
③どんな役割が必要か	○自治的活動の範囲を超えそうな場合は必要に応じて助言する。 ○自分の考えに固執せず、納得した上で考えを変えるなど、折り合いをつけることも必要であることについて助言する。		

10 決まったことの発表	○ノート記録が発表するときに、黒板記録が黒板を指さして、全員で話合いの流れを振り返ることができるように事前に指導する。	◎友達の見解を参考に して新たな意見や折衷案について発言している。 (観察・発言・学級会ノート)	1
11 振り返り	○学級会を振り返り、学級会ノートに記入し自己評価をさせる。		4
12 先生の話	○計画委員の活動を称賛するとともに、今後の学級会の課題と事後の活動の向けて見通しを確認し、実践への意欲が高まるようにする。		
13 終わりの言葉	○司会が実践への意欲を高める言葉が言えるよう、事前に指導する。		

(4) 事後の活動

- ・決まったことを学級活動コーナーに掲示する。
- ・実践に向けての準備
- ・実践の振り返り



(5) 評価の観点

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
より良い学級にするために、係活動に関心をもち、他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。	係発表会を充実させるために話合い、自己の役割や責任、集団としてよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの意義や、学級集団としての意見をまとめる話合い活動の効率的な進め方などについて理解してい

2 実践の記録

(1) 実践の様子



どの係も、活動の内容を紹介することができた。特に、係の活動が見えにくいところを分かってもらおうと活動の準備をしているところや、注目されない活動などについて発表していた。また、自分の係だけでなく友達の係の発表も積極的に聞き、クイズや○×ゲームなどに進んで参加し、会を盛り上げていた。

子供達がこだわっていた他の係の見えない活動について知ってもらうために、劇にして発表する係やポスターを描いて発表する係など、様々な工夫をして係しょう会を成功させようと準備をし、会本番も楽しんでいった。

(2) 児童の振り返り

係しょう会の実践後、ワークシートに実践の振り返りを記入した。下記のように他の係の活動について知ることができたという声や、係活動が活発になり、より良いクラスになったという声も見られ、今回の実践は、ねらいに即したものだと言ええる。

また、係活動の活性化については、活動を知ってもらうことで、継続して活動した係が9つある係のうち6つあった。

係	し	ょ	う	会	を	や	。	て	み	て	、	係	の
こ	と	を	知	る	こ	と	が	で	き	ま	し	た	。
で	き	し	い	な	か	。	た	自	分	の	係	を	1
し	ょ	う	か	い	を	や	。	て	で	き	る	よ	う
に	な	り	ま	し	た	。							

係	し	ょ	う	会	を	や	。	て	、	ほ	か	の
係	か	や	。	て	い	る	こ	と	は	も	う	ろ
ん	、	見	え	て	い	な	い	と	こ	ろ	で	や
っ	て	い	る	こ	と	な	ど	、	こ	ま	か	い
と	こ	ろ	ま	で	知	れ	ま	し	た	。		
こ	の	係	し	ょ	う	会	を	や	。	て	、	た
く	さ	ん	の	係	か	活	動	し	は	じ	め	た
の	で	、	前	よ	り	も	楽	し	く	、	良	い
ク	ラ	ス	に	な	。	た	と	思	い	ま	す	。

(3) 教師の振り返り

- ◎子供達は係活動を活発化させようと、劇やクイズなどで学級の仲間たちに仕事内容を知らせようと具体的な目標をもって実践を行うことができた。
- ◎係活動を活性化することが、より良い学級を作ることにつながるということが実感できる実践になり、自治的な雰囲気を自分たちが作り出せるという達成感を得ることができた。

△学級がよりよくなったことについては感覚的にとらえるだけで、具体的にどうよくなったのかが感じられなかった。振り返りを掲示することや、アンケートをとり結果を掲示するなど、視覚的に訴えるような方策を講じるべきだった。

